

クリーンシステム

過去最高の140人で清掃

河川愛護・マイロード事業

クリーンシステム（山形市 鈴木隆代表取締役）と協力企業で構成するクリーンシステム協力会（佐藤啓会長）は合同で23日、河川愛護活動支援事業およびマ



イロードサポート事業として本社周辺を流れる須川などで清掃活動を行った。当日は、社員84人と協力会から56人（34社）が集まり、過去最高人数だった昨年を超える総勢140人が参加。作業に先立ち、佐藤会長が「作業エリアのごみの量が年々減ってきているが、これはわれわれが清掃することで地域の意識が変

化したものだと思う。けがの無いように気を付けながら、これまで以上に一帯をきれいにしていこう」と呼び掛けた。

参加者は15班に分かれ、河川愛護活動として本社近くの須川と上の沢川を、マイロードサポート事業として国道458号線や県道271号線沿いを対象にごみ拾いを実施したほか、これらの活動に併せて農道や西部工業団地周辺などにおいてボランティアによる清掃活動も行った。

また、CSR活動の一環として参加者からエコキャップとプルタブも回収し、エコキャップ173個、プルタブ155個が集められた。同社ではこれらを売却して車椅子を購入し、施設へ寄贈する予定だ。

2018年6月26日 建設新聞

街かど アラカルト

須川などでごみ拾い

山形 クリーンシステム（鈴木隆社長）

とクリーンシステム協力会（佐藤啓会長）が23日、同社周辺の須川などで清掃活動を実施した。写真。

社員ら140人が須川周辺や近くの国道、農道で1時間かけ



てごみを拾うなどした。県などが支援する河川愛護活動団体、県マイロードサポート団体の活動と併せ、範囲を広げて奉仕活動も行った。両者の行事として2009年にスタートした河川清掃が始まりで、活動は10回目。

2018年6月28日 山形新聞